

事業報告

平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

1. 庶務関係

(1) 会員の状況（29.3.31 現在）（ ）内前年同期増減

| ブロック | 正会員 | 学生会員 |
|--------|------------|-----------|
| 東北・北海道 | 113 (-16) | 8 (+4) |
| 関東 | 460 (-6) | 53 (+9) |
| 東海・北陸 | 144 (+5) | 6 (-6) |
| 近畿 | 257 (-11) | 34 (+13) |
| 中国・四国 | 126 (-11) | 11 (±0) |
| 九州 | 127 (-3) | 10 (+7) |
| 海外 | 8 (-1) | 0 (±0) |
| 合計 | 1235 (-43) | 122 (+27) |

団体会員 166 団体、賛助会員 48 団体、名誉会員 8 名、顧問 3 名

(2) 大会の開催

一般社団法人日本調理科学会平成 28 年度大会

平成 28 年 8 月 28 日（日）、29 日（月）名古屋学芸大学

(3) 研究の奨励及び研究業績等の表彰

学会賞 1 名、奨励賞 1 名、功労賞 2 名の表彰

(4) 会議の開催

1) 一般社団法人日本調理科学会平成 28 年度代議員総会

平成 28 年 6 月 5 日（日）お茶の水女子大学

2) 理事会 4 回

3) 編集委員会 6 回

4) 情報管理委員会 2 回

5) 学会賞選考委員会 2 回

6) 規程委員会 1 回

7) 刊行委員会 2 回

2. 企画・広報関係

年次大会を中心とした企画・広報を行った。また、6 月 5 日（日）「加熱調理研究の道程」として横浜国立大学名誉教授 渋川祥子氏の講演会を開催した。

また次年度、創立 50 周年を迎えるにあたり、「(一社) 日本調理科学会創立 50 周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、その事業組織として記念行事委員会・記念増刊号編集委員会・記念出版委員会・募金委員会の活動を開始した。

3. 常置委員会関係

(1) 編集委員会 『日本調理科学会誌』の発行 年 6 回発行 A4 判

第 49 巻 第 2 号 1,750 部、第 3 号 1,700 部、第 4 号 1,700 部、第 5 号 1,700 部、第 6 号 1,700 部

第 50 巻 第 1 号 1,700 部

編集・刊行

① 論文投稿状況（28 年 4 月 1 日～29 年 3 月 31 日）

報文 17 編、ノート・資料 12 編、クッキングルーム 1 編 計 30 編

② 論文審査状況

平成 29 年 3 月 31 日現在

| 区分 | 掲載済 | 印刷待ち | 著者取り下げ | 却下 | 審査・訂正中 | 計 |
|---------|-----|------|--------|----|--------|----|
| 25 年度投稿 | 33 | 0 | 2 | 2 | 0 | 37 |
| 26 年度投稿 | 36 | 0 | 6 | 15 | 0 | 57 |
| 27 年度投稿 | 25 | 0 | 2 | 13 | 1 | 41 |
| 28 年度投稿 | 4 | 4 | 2 | 6 | 14 | 30 |

③ 学会誌 49 巻 2～6 および 50 巻 1 号掲載発行状況

| 区分 | 2号 | 3号 | 4号 | 5号 | 6号 | 1号 | 合計 |
|-------------|----|----|----|----|----|----|-----|
| 報文 | 5 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 12 |
| ノート・資料 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 | 0 | 9 |
| 総説 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 講座 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 教材研究 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| クッキングルーム | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 7 |
| トピックス&オピニオン | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 新刊紹介 | 1 | 1 | 3 | 0 | 2 | 0 | 7 |
| ページ数 | 85 | 73 | 36 | 43 | 47 | 37 | 321 |

(2) 情報管理委員会

- ① 情報管理委員会を開催し、ホームページ等の管理、運用を行った。
- ② 平成 28 年度大会演題登録はアトラス社の PASREG を利用して行った。
研究発表要旨を J-STAGE にて公開した。
- ③ 学会誌は発行 1 か月以内に電子版を J-STAGE にて公開した。なお公開業務は平成 29 年度より編集委員会の担当とする。
- ④ メール・ニュース 4 月 20 日号、4 月 25 日号、5 月 5 日号、5 月 10 日号、5 月 14 日号、5 月 18 日号、5 月 18 日号、6 月 14 日号、7 月 5 日号、12 月 27 日号の 10 回発行した。アドレスの更新を年度内 2 回行った。

4. 渉外関係

- (1) 日本学術会議協力学術団体として生活科学系コンソーシアムの活動を行った。
- (2) 下記の関連学協会と事業の共催、協賛、情報交換を行った。
(一社)日本家政学会、日本官能評価学会、日本家庭科教育学会、日本食生活学会、(公社)全国調理師養成施設協会、日本熱測定学会、日本高圧力学会、日本熱物性学会、(一社)日本レオロジー学会、(公社)日本冷凍空調学会、日本食品・機械研究会、(公財)不二たん白質研究振興財団、食品ハイドロコロイド研究会、(一財)日本食生活文化財団、(公財)ソルト・サイエンス研究財団、その他の学協会

5. 研究委員会関係

- (1) 災害時メニュー開発に関する研究委員会は、認定 NPO 法人キャンパーの熊本地震での炊き出し活動に尚綱大学短期大学部食物栄養学科 2 年生が中心となり活動し、それに中村学園大学の学生も参画し、4 月 20 日より 5 月 8 日まで、熊本県益城町にて行った。
- (2) 次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会は、本年度大会にて 特別企画『次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理』ポスター発表 (テーマ「主食の特徴」)を行い、家庭料理研究委員(352名)にポスター発表要旨を収録した冊子を配布、大会後に学会 HP にも公開した。また研究の活発化を図るため、編集委員会の協力のもとに本学会誌における「家庭料理研究審査委員」の特別枠を設けた。

6. 特別委員会関係

刊行委員会は、創立 40 周年記念事業として日本調理科学会監修のクッカーサイエンスシリーズを刊行しており、2016 年 8 月に第 7 号を刊行した。

7. 支部関係

次ページに掲載